

●愛知県へ譲与された森林環境譲与税を活用した事業の詳細（令和3年度）

事業名	事業総額（千円）		事業内容 ※枠内の〔 〕は事業区分	実績						その他の実績値 （自由記載）				
	(A)+(B)	(A)うち令和3年度の森林環境譲与税（千円）		(B)うち他の財源（千円）	市町村等を対象にした研修会・講習会			経営体等への助成			担い手を対象にした研修・講習、求人イベント等			
					回数（回）	参加者数（人）	市町村数	経営体数	支援対象者数（人）		回数（回）	参加者数（人）		
森林環境譲与税活用事業費 （人材育成事業費）	41,272	41,272	0	〔担い手の確保〕 新規林業就業者の確保に向けて、森の仕事PR、エリアガイダンス等を行った。						26	517 （延）			
				〔担い手の育成〕 〔林業経営体の育成〕 〔新技術の習得〕 森林整備の担い手を育成するため、現場技能者や経営体職員に対する研修により、現場で求められる知識及び技能の向上、安全対策強化を図るとともに経営体の経営効率を上げるための研修を行った。				・林業機械活用支援 7経営体 ・林業経営体の経営等サポート 1経営体 ・林業労働安全衛生支援 3経営体	・林業機械活用支援 7者 ・林業経営体の経営等サポート 1者 ・林業労働安全衛生支援 60人	56	488 （延）			
				〔市町村職員のスキルアップ等〕 森林整備及びその促進を担う市町村職員に対する研修等により、知識及び技能の向上を図った。相談窓口を設け市町村サポート体制の強化を図った。	3	31 （延）	12							
森林環境譲与税活用事業費 （木材利用拡大事業費）	51,129	51,129	0	〔木材新規用途の施工実証等〕 県産2×4部材を用いた住宅等の建築を通じて、部材の品質、施工性、完成精度等について外国産2×4部材との比較検証を行った。								12件の実証		
				〔木質建築資材等の利用促進〕 建築士に対して、あいち認証材を活用した新製品等の利用を積極的に働きかけることにより、あいち認証製品等の利用促進を図った。								5件の支援		
				〔県産木材の普及啓発〕 イベント等において、木材の魅力や木材利用の意義を広く県民にPRするとともに、森林・林業の現状及び森林整備や木づかいの大切さについて普及を行った。								・あいち木づかいフェスタ ・ウッドワンダーランド2021 ・SDGsまつり ・木のある暮らしあいちinイオンモール常滑 計4回		
				〔市町村職員等への木材利用研修〕 市町村の施策における木材利用の促進に向け、市町村職員等を対象に木材利用に関する研修等を行い、知識及び技能の向上を図った。	10	160 （延）	24							
森林環境譲与税活用事業費 （森林情報整備事業費）	63,738	63,738	0	〔森林資源情報及び地形情報の解析〕 経営管理が適切に行われていない森林等の特定に向け、森林資源や地形情報に関する約3.6万haのデータ解析を行い、関係する自治体へ提供することで、市町村による適正な森林の経営管理の促進を支援した。								航空レーザ測量データの解析により、県内の森林資源や地形情報に関する約3.6万haのデータ整備を実施し、関係する自治体へデータ提供		
				〔森林クラウドシステム導入調査検討〕 県が保有する森林簿等の森林情報や航空レーザ計測データの解析による森林資源情報、市町村や林業経営体が管理する森林に関する情報を一元的に管理・共有するための森林クラウドシステムの導入検討を進め、市町村の森林経営管理制度の推進の支援を図った。								関係機関への説明会等の実施 森林クラウドシステム先進事例調査 システム仕様書の作成		
あいちのスマート林業推進事業費	13,316	13,316	0	〔木材需給情報システム導入〕 丸太の流通コストを削減し、森林所有者への利益を還元して森林整備意欲を喚起するため、森林組合等の木材生産者の生産計画情報と製材工場等の需要情報を共有し、マッチングするシステムの導入を図った。	3	8 （延）	5					11	37 （延）	システム導入において、県内の木材生産者6者、運送業者2者、製材工場1者が参加した。
				〔ICT林業機械導入推進〕 木材生産業務の効率化と収益性向上を図るための実証調査、現地検討会を実施し、本県におけるICT林業機械の導入を推進した。	2	6 （延）	5					7	48 （延）	木材生産現場におけるICT林業機械の活用実証を行なった。